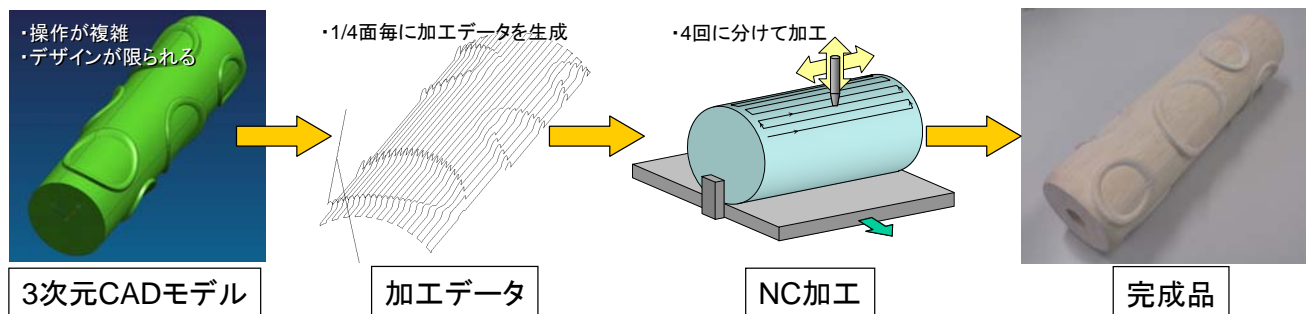


円筒面上への簡易加工技術の開発

インテリア研究所 デザイン・システムチーム 楠本幸裕

～ 円筒面上に対して立体形状などを加工しようとするとき ～

- **従来手法**：これまでは、3次元CADで出来上がりの形状（円筒形状）をモデリングし、それを基にCAM機能により加工データを算出し、NC工作機械によるXYZ3軸の並進加工で製作していました（下図参照）。



- **問題点**：しかし従来手法では、3次元CADによる円筒形状でのモデリング（上図左）の操作が非常に複雑で、思い通りのモデルを簡単に作成（入力）できないという問題点がありました。

- **研究成果**：そこでインテリア研究所では、**ロータリー加工^(*)用のポストプロセッサ^(*)**を開発することで、この問題を解決しました。この方法を用いれば、3次元CADで平面上に描いたデザインを簡単な操作で円筒形ワーク上に転写加工できるため、ペイントローラーなどの多品種少量生産が可能になりました。

(*) ロータリー加工…材料を回転させながら加工する手法

(*) ポストプロセッサ…加工データの変換ソフト

